



岐阜県PTA連合会では、発達障がいへの理解を深める活動に取り組んでいます。
第1弾として、まずは「発達障がいの概要」についてわかりやすくお伝えします。

発達障がいのお話です。

ADHD
学習障がい
アスペルガー症候群
自閉症
自閉症スペクトラム障害
など

よく見られる特性

人と関わるのが苦手／動きが多く落ち着きがない／集団行動ができない／こだわりが強い／指示が理解できない／学習に何らかのつまずきがある

とっても詳しい学校の先生

最近、テレビでも話題になってるよね

発達障がいのある子はまわりの子になかなか理解されないことが多いので、学校で苦しい思いをしています。そして、だんだん自信を失くしてしまつ子もいます

がんばりが足りないように見られて家族も本人もつらい思いをしていることも多いです。

育て方が悪いんじゃない？
わがまま！
あいつ、ズルしてる
空気を読めんやつ！
いろいろと誤解されてるみたい

でもでも！
発達障がいがあったら何かしてくれるの？
学校は？！

しますともー！

いま、学校は発達障がいに限らず、困難を抱える子に対してこんなことをしています。

学校では

児童生徒を支援する先生が付く場合があります

その子に合わせた「教育支援計画」を学校と保護者で作ります

コミュニケーションの練習をします

今の私の気持ちは
です
あ、そう

通級指導教室

通常学級から週に数時間だけ離れ、その子の特性に合わせた学習をします

落ち着いた環境でその子に合った学習方法で力をつけます

合理的な配慮

その子に困難なことを、できるかぎり配慮します
たとえば

- マスを大きくしたノートを活用
 - 机の位置を配慮する等
- 子どもに応じてさまざま！

☆必要があれば、地域の特別支援学校のセンター的機能を利用します。

地域にある様々な教育資源を活用し、その子に応じた支援ができるよう努力しています。

一人のために「なんにも考えてもらえないなんてい時代になったなあ……」
障がいのある子を特別扱いしてきりかへてはほしくない、
障がいのある子もいない子も
それぞれの子に合った対応を……
「インクルーシブ教育」というんだって。

